

イスラエルから学ぶ クリスチャンの安息

詩篇 106, 82, 10, 122, 150篇

アウトライン

- | | |
|----------------|-----------|
| I. 教会時代 | 詩篇110篇 |
| II. 信仰者の試練 | 詩篇27篇 |
| III. 大患難・苦しみの日 | 詩篇83篇 |
| IV. 神の裁き | 詩篇82,97篇 |
| V. 神の王国 | 詩篇87,122篇 |
| VI. 賛歌 | 詩篇150篇 |
| VII. まとめと適用 | |





I . 教会時代

詩篇110篇

聖墳墓教会

教会時代 大祭司メシア

- 贖いを成し遂げたメシアは、栄光の姿で昇天
- 天の神の右の座(父なる神と同等の権威)で、
大祭司として信仰者の祈りを取りなされている
- 今は、恵みの時代。裁きの到来の前の猶予期間
 - ➡ この時代に救われるべき すべての人が救われるため

【主】は私の主に言われた。「あなたはわたしの右の座に着いていなさい。わたしがあなたの敵をあなたの足台とするまで。」

【主】は あなたの力の杖をシオンから伸ばされる。

「あなたの敵のただ中で治めよ」と。

あなた(神)の民は あなたの戦いの日に喜んで仕える。

聖なる威光をまとして夜明け前から。あなたの若さは朝露のようだ。

【主】は誓われた。思い直されることはない。

「あなたはメルキゼデクの例に倣い とこしえに祭司である。」

あなた(神)の右におられる主は 御怒りの日に 王たちを打ち碎かれる。

国々をさばき 屍で満たし 広い地を治める首領を打ち碎かれる。

主は道の傍らで流れから水を飲まれる。こうしてその頭を高く上げられる。



Ⅱ. 信仰者の試練

詩篇27篇

跡

教会時代の苦難の理由

- メシアは十字架で勝利された。
- まだ王として戻って来られていない。
- いまだにサタンが地上を不法に支配。
 - ➡偽預言者、偽教師が跋扈
- 信仰者には苦難がある。
 - ➡主は愛する子を訓練される

御言葉を

【主】は 私の光 私の救い。だれを私は恐れよう。

【主】は 私のいのちの砦。だれを私は怖がろう。

私の肉を食らおうと悪を行う者が 私に襲いかかったとき
崩れ落ちたのは 私に逆らう者私の敵であった。

たとえ 私に対して陣営が張られても 私の心は恐れない。

たとえ 私に対して戦いが起こっても それにも私は動じない。

一つのことを 私は【主】に願った。それを私は求めている。

私のいのちの日の限り【主】の家に住むことを。

【主】の麗しさに目を注ぎ その宮で思いを巡らすために。

それは主が**苦しみの日**に 私を隠れ場に隠し

その幕屋のひそかな所に私をかくまい

岩の上に 私を上げてくださるからだ。

今 私の頭は 私を取り囲む敵の上に高く上げられる。

私は 主の幕屋で喜びのいけにえをささげ

【主】に歌い ほめ歌を歌おう。

聞いてください【主】よ。私が呼ぶこの声を。

私をあわれみ 私に答えてください。

あなたに代わって 私の心は言います。

「わたしの顔を慕い求めよ」と。

【主】よ あなたの御顔を私は慕い求めます。

どうか御顔を私に隠さないでください。

あなたのしもべを 怒って押しのけないでください。

あなたは私の助けです。見放さないでください。

見捨てないでください。私の救いの神よ。

私の父 私の母が私を見捨てるときは

【主】が 私を取り上げてくださいます。

【主】よ あなたの道を私に教えてください。

私を待ち伏せている者どもがいますから

私を平らな道に導いてください。

私を敵の意のままにさせないでください。

偽りの証人どもが私に向かい立ち 暴言を吐いているのです。

もしも私が生ける者の地で

【主】のいつくしみを見ると信じていなかったなら—。

待ち望め【主】を。雄々しくあれ。

心を強くせよ。待ち望め【主】を。



Ⅲ. 患難 ヤコブの苦しみの日

詩篇83篇

ユダの荒野

大患難時代 ヤコブの苦しみの時

- この時代に救われるべき最後の一人が信じた瞬間、
すべての真の信者は天のイエスのもとに挙げられる →携挙
- 反キリストが、イスラエルと7年の契約を結ぶ
→大患難時代・イスラエルへの最後の裁き
- 後半、反キリストが神殿を汚し、イスラエルへの大迫害を開始
- メギドの平原に世界中の軍隊が結集、最終戦争(ハルマゲドン)
→エルサレムを滅ぼし、逃れ先のペトラへ

イスラエルは殲滅の危機に!!

神よ 沈黙していませんでください。黙っていませんでください。

神よ 黙り続けませんでください。

ご覧ください。あなたの敵が騒ぎ立ち

あなたを憎む者どもが 頭をもたげています。

彼らはあなたの民に対して 悪賢いばかりごとをめぐらし

あなたにかくまわれている者たちに悪を企んでいます。

彼らは言っています。「さあ彼らの国を消し去って

イスラエルの名がもはや覚えられないようにしよう。」

彼らは心を一つにして悪を企み

あなたに逆らって盟約を結んでいます。

エドムの天幕の民とイシュマエル人モアブとハガル人
ゲバルとアンモン それにアマレクペリシテさらにはツロの住民。
アッシリアも彼らにくみし 彼らはロトの子らの腕となりました。
どうか彼らをミディアンやキシヨン川でのシセラとヤビンのように
してください。

エン・ドルで滅ぼし尽くされ

土地の肥やしとなった者たちのように。

彼らの貴族たちをオレブとゼエブのようにし

彼らの君主たちをみなゼバフとツアルムナのようにしてください。

彼らは言っています。「神の牧場を奪ってわれわれのものとしよう。」

私の神よ 彼らを風の前に吹き転がされる藁のようにしてください。

林を燃やす火のように 山々を焼き尽くす炎のように

そのようにあなたの疾風で彼らを追い

あなたの嵐で恐れおののかせてください。

彼らの顔を恥で満たしてください。

【主】よ 彼らが御名を捜し回りますように。

彼らがいつまでも恥を見て恐れおののきますように。

辱めを受けて滅びますように。

こうして彼らが知りますように。その名が【主】であるあなただけが全地の上におられるいと高き方であることを。



IV. 神の裁き

詩篇82,97篇

メシア再臨と裁き

- 民族殲滅の危機に、イスラエルは民族的回心
- 救いを求める叫びにこたえ、メシアが再臨
 - ➡ 反キリストとその軍勢を裁き、滅ぼされる
- 生き延びた異邦人は、「羊と山羊の裁き」を受ける
 - ➡ ユダヤ人に味方した者は救われ、敵対した者は滅ぼされる
- 地形は激変。エルサレムが世界の中心。
 - ➡ すべてのイスラエルが離散の地から帰還

神は神の会議の中に立ち 神々のただ中でさばきを下す。

いつまでおまえたちは不正をもってさばき

悪しき者たちの味方をするのか。

弱い者とみなしごのためにさばき 苦しむ者と乏しい者の正しさを認めよ。

弱い者と貧しい者を助け出し 悪しき者たちの手から救い出せ。

彼らは知らない。また悟らない。彼らは暗闇の中を歩き回る。

地の基はことごとく揺らいでいる。

わたしは言った。「おまえたちは神々だ。みないと高き者の子らだ。

にもかかわらず おまえたちは人のように死に

君主たちの一人のように倒れるのだ。」

神よ 立ち上がって地をさばいてください。

あなたがすべての国々を ご自分のものとしておられるからです。

【主】は王である。地は小躍りせよ。多くの島々は喜べ。
雲と暗黒が主を囲み 義とさばきが御座の基である。
火は御前に先立ち 主の敵を囲んで焼き尽くす。
主の稲妻は世界を照らし 地はそれを見ておののく。
山々は【主】の御前にろうのように溶ける。全地の主の御前に。
天は主の義を告げ 諸国の民はその栄光を見る。
すべて偶像に仕える者 偽りの神々を誇る者は恥を見る。
すべての神々よ主にひれ伏せ。

シオンは聞いて喜び ユダの娘たちも小躍りしました。

【主】よ あなたのさばきのゆえに。

【主】よ あなたこそ 全地の上におられるいと高き方。

すべての神々を超えて高くあがめられています。

【主】を愛する者たちよ。悪を憎め。

主は 主にある敬虔な者たちのたましいを守り

悪者どもの手から彼らを救い出される。

光は 正しい者のために蒔かれている。

喜びは 心の直ぐな人のために。

正しい者たち。【主】にあって喜べ。その聖なる御名に感謝せよ。



V. 神の王国

詩篇87,122篇

荒野に咲く花

神の王国 千年王国

- 王なるメシアがエルサレムの神殿に住まわれ、イスラエルが、祭司として務める。
- 神殿から湧き出す水は、大河となり東と西に流れ込む。
 - ➡ 死海も豊かな漁場となる
- 世界中の民が、メシアに仕え、礼拝するために上ってくる。

主の礎は聖なる山にある。

【主】はシオンの門を愛される。ヤコブのどの住まいよりも。

神の都よ あなたについて誉れあることが語られている。

「わたしはラハブとバビロンを わたしを知る者として記憶しよう。

見よ ペリシテとツロクシュもともに。

『この者はこの都で生まれた』と。」

しかしシオンについてはこう言われている。「この者もあの者もこの都で生まれた。いと高き方ご自身がシオンを堅く建てられる」と。

【主】が「この者はこの都で生まれた」と記して

国々の民を登録される。

歌う者も踊る者も「私の泉はみなあなたにあります」と言う。

都上りの歌。ダビデによる。>

「さあ【主】の家に行こう。」

人々が私にそう言ったとき私は喜んだ。

エルサレムよ 私たちの足はあなたの門の内に立っている。

エルサレム それは一つによくまとまった都として建てられている。

そこには多くの部族【主】の部族が上って来る。

イスラエルである証しとして【主】の御名に感謝するために。

そこにはさばきの座ダビデの家の王座があるからだ。

エルサレムの平和のために祈れ。

「あなたを愛する人々が安らかであるように。

あなたの城壁の内に平和があるように。

あなたの宮殿の内が平穏であるように。」

私の兄弟友のためにさあ私は言おう。

「あなたのうちに平和があるように。」

私たちの神【主】の家のために

私はあなたの幸いを祈り求めよう。





IV. 讚歌

詩篇150篇

新天新地

- 千年の後、一時解き放たれたサタンは、最終的な裁きを受ける
▶よみにいたすべての人は白い御座の裁きをへてゲヘナへ
- 天のエルサレムが地上に下る。天地は完全に作り替えられる。
- 新天新地では、主ご自身が神殿、主の栄光がすべてを照らす。
命の川が流れ、命の木が豊かに実る
- 涙も叫びも悲しみもない。
尽きることのない喜びと絶えることのない賛歌の世界

ハレルヤ。神の聖所で 神をほめたたえよ(ハレル・エール)。

御力の大空で 神をほめたたえよ。

その大能のみわざのゆえに 神をほめたたえよ。

その比類なき偉大さにふさわしく 神をほめたたえよ。

角笛を吹き鳴らして 神をほめたたえよ。

琴と豎琴に合わせて 神をほめたたえよ。

タンバリンと踊りをもって 神をほめたたえよ。

弦をかき鳴らし笛を吹いて 神をほめたたえよ。

音の高いシンバルで 神をほめたたえよ。

鳴り響くシンバルで 神をほめたたえよ。

息のあるものはみな 【主】をほめたたえよ。ハレルヤ。



III. まとめと適用

約束された究極的のゴールを見据

希望は神の約束にある

- 世の終わりが迫るほど、世界のイスラエルへの敵意は増す。
 - ➡ 究極が、大患難時代、反キリストの大迫害
2/3のユダヤ人は死に、1/3が生き延びる。
- 民族殲滅の危機に、イスラエルは民族的回心を遂げる。
 - ➡ 呼び求める声に応え、メシアが再臨、世界を回復
- 今の時代だけを見れば、失意も絶望も深まるばかりかもしれないが、主が、将来の平安を約束されている。
 - ➡ ダビデも、主の将来の約束から力を得た

★ 究極の永遠の賛美の世界へ ★

- 「新しい歌」は、神の王国での賛歌。あるいはその先取り。
- 新天新地では、哀しみも病もなく
すべての人は、主の栄光に満たされ、賛歌をささげる。

「黙示録22:3~4 もはや、のろわれるものは何もない。
神と子羊の御座が都の中にあり、神のしもべたちは神に仕え、
御顔を仰ぎ見る。また、彼らの額には神の御名が記されている。」

永遠の御国の先取りとして、喜んで主を礼拝していこう!!